

# 提案企画書 Bグループ

事業名	駅前中心商店街の新たな顧客の発掘
事業目的	<p>二本松駅前には二本松市政でも中心拠点として位置づけているが、JR二本松駅は年々利用客が減少し、駅前の商店街も活気があるとはいえない状況になっている。坂道が多く、駅から霞ヶ城までの導線も良好ではないため、鉄道利用者からは城下町としての特性を生かしていくのが現状といえる。</p> <p>一方では近年はエビスサーキットでのドリフトを訪日の目的とした外国人が来松するなど、観光資源には事欠かさない。しかし、ドリフトを目的とするような外国人の客層は、岳温泉の従来の日本的な旅館に泊まるような客層ではないため、郡山市などに滞在するパターンが多いようである。</p> <p>今回は、二本松の中心市街地に滞在し、飲食店をはじめとした各店舗にお金を落としてもらえるような新たな客層の発掘をすることを目的とする。</p>
事業概要	<p><b>(1) 店舗等施設整備費補助金の拡充</b> 中心市街地の空き店舗において民泊または簡易宿泊所を開業する事業主体に対し補助金を支出する。また、外国人旅行者向けの予約獲得のため、外国人向けの旅行サイトへの登録を中心とするため、DMOを事務局とした協議会を設立し事務手続き等を実施する。事務局員には地域おこし協力隊の活用を検討する。</p> <p><b>(2) 観光手段整備事業</b> 電動自転車の整備＋5台。ルート提案を行う。(instagramのハッシュタグの活用、youtubeでの経路案内、インフルエンサーの活用など)</p> <p><b>(3) 市内周遊用クーポン発券助成事業</b> 中心市街地の民泊・簡易宿泊所に宿泊した方やレンタルサイクルの利用者に対して、市内飲食店・施設で使用できるクーポン券の発行をする。実施主体はにほんまつDMOとし、市はにほんまつDMOに補助金を支出する。</p>
実施主体	<p>(1・3) 店舗等施設整備費補助金の拡充・市内周遊用クーポン発券助成事業 ◇計画策定：市(秘書政策課・商工課・観光課)、にほんまつDMO、二本松商工会議所、地元街づくり団体 ◆実施運営：にほんまつDMO、商工会議所、街づくり団体等で構成する協議会</p> <p>(2) 観光手段整備事業 ◆実施運営：にほんまつDMO・にほんまつ観光連盟</p>
予算概要	<p>(1) 店舗等施設整備費補助金の拡充 ・予算2,000千円(改修費用上限を宿泊所開設に関するものについては800千円とする)</p> <p>(2) 観光手段整備事業 ・備品購入費(補助金として) 78千円×5台=390千円</p> <p>(3) 市内周遊用クーポン発券助成事業 ・1名あたり1,000円×100人=100千円</p> <p>(4) 協議会運営に関する経費 ・地域おこし協力隊 人件費分2,000千円 委託料分2,000千円 ・事務費等 300千円</p>
効果検証	<p>・市内宿泊者数・市内観光客数・民泊開業者数</p>